



ファンドの概要

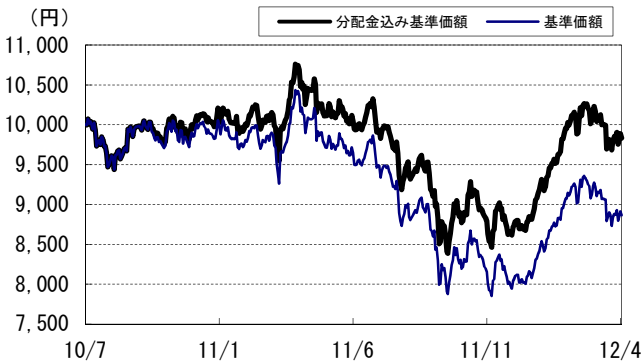
設定日 2010年7月30日  
 償還日 2020年6月17日  
 決算日 原則毎月17日  
 分配時期 2010年10月以降、決算日毎

ファンドの特色

1. 債券70%、株式30%を基本組入比率として、債券部分で安定した収益を享受しつつ、株式部分で値上がり益を追求することにより、中長期的な信託財産の成長をめざします。
2. 次世代を担う分野として長期的な成長が期待される、世界の環境分野に投資を行ないます。
3. 原則として、毎月、安定した収益分配を行なうことをめざします。

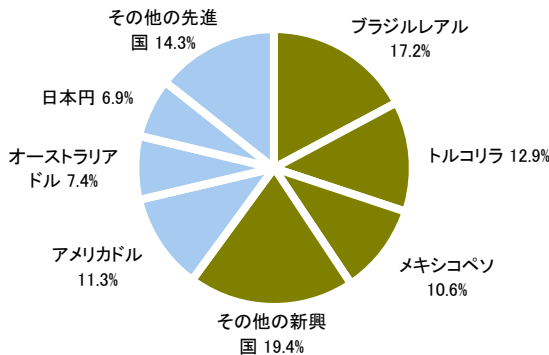
運用実績

＜基準価額の推移グラフ＞



※分配金込み基準価額は当ファンドに、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。  
 ※基準価額は、信託報酬（年率1.539525%（税抜1.484375%）程度）控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。  
 ※グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

＜通貨別構成比＞



※各運用会社から提供されたデータをもとに計算した概算値です。

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。  
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。  
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

基準価額 : 8,865円  
 純資産総額 : 29.41億円

＜基準価額の騰落率＞

1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
-2.07%	7.20%	7.45%	-7.03%	-	-1.67%

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

＜分配金実績（税引前）＞

設定来合計	直近12期計	11・5・17	11・6・17	11・7・19	11・8・17	11・9・20
950円	600円	50円	50円	50円	50円	50円
11・10・17	11・11・17	11・12・19	12・1・17	12・2・17	12・3・19	12・4・17
50円	50円	50円	50円	50円	50円	50円

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。

＜資産構成比＞

エコロジー・ボンド・ファンド クラスA	69.2%
LOプレミアファンドークリーンエネルギー	12.4%
SAM ウォーター ファンド	12.5%
生物多様性ファンド（適格機関投資家専用）	4.9%
現金その他	1.0%

＜基準価額騰落の要因分解（月次）＞

前月末基準価額	9,104円	
当月お支払いした分配金	-50円	
要因	エコロジー・ボンド・ファンド クラスA	-90円
	LOプレミアファンドークリーンエネルギー	-51円
	SAM ウォーター ファンド	-15円
	生物多様性ファンド（適格機関投資家専用）	-25円
	その他	-8円
当月末基準価額	8,865円	

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

運用コメント

当月の基準価額の騰落率はマイナスとなりました。  
 当月は組み入れている4つのファンドすべてがマイナスに寄与したため、基準価額は値下がりしました。  
 今後の投資方針としましては、債券70%、株式30%を基本組入比率として投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざします。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。  
 ■当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## エコロジー・ボンド・ファンド クラスA

※日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドより提供された情報です。



※上記データは、グリーンバランスファンドの基準価額算出に用いた、エコロジー・ボンド・ファンド クラスAの基準価額です。  
 ※グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## ＜基準価額の騰落率＞

1か月	3か月	6か月	1年	3年
-1.42%	6.69%	7.60%	-3.07%	-

※基準価額の騰落率は、分配金を再投資し計算しています。

## ＜外国通貨別構成比上位10通貨＞

通貨	比率	通貨	比率
ブラジルレアル	23.1%	ロシアルーブル	5.2%
トルコリラ	18.6%	ノルウェークローネ	5.0%
メキシコペソ	15.3%	ポーランドズロチ	4.4%
南アフリカランド	13.8%	コロンビアペソ	3.9%
オーストラリアドル	10.2%	アメリカドル	0.0%

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

## ＜ポートフォリオの特性値＞

平均最終利回り	6.12%
平均直接利回り	7.45%
平均デュレーション	4.16年
平均残存期間	5.10年
組入債券の銘柄数	22銘柄

※利回りは、個別債券および短期金融資産について加重平均したものです。  
 ※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。  
 ※利回りは将来得られる期待利回りを示すものではありません。

## ＜公社債種別構成比＞

国債	5.8%
政府機関債	
政府保証債	
国際機関債	93.7%
その他	0.6%
環境関連債券	60.2%

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

## ＜格付別構成比＞

Aaa	99.4%
Aa	0.0%
A	0.0%
Baa以下	0.0%
平均格付	Aaa

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。  
 ※格付はMoody's、S&Pのうち、高い格付を採用しています。  
 ※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

## 運用コメント

## ◎運用概況

当月の基準価額は下落しました。相対的に通貨が好調だった国は、トルコ、コロンビアなどでした。通貨が低調だった国は、ブラジル、メキシコなどでした。

## ◎今後の見通しと運用方針

ここ数ヶ月間に欧州は落ち着きを見せ、債務危機の情勢にも進展がありました。4月は再び欧州情勢に注目が集まり、不安定な市場に逆戻りしました。苦しい経済状況が続くスペインでは、第1四半期の失業率が大幅に上昇し、GDPデータはスペイン経済が再び景気後退入りしたことを示しました。大手格付機関が財政赤字の悪化及び銀行システムに対する不安を理由に、同国価格付けをAからBBB+へと引き下げたことも、市場の懸念を更に増幅させました。オランダでは、財政赤字を欧州委員会の定めた水準に抑える為に必要な歳出削減策について、政党間で合意に至らず、連立内閣が崩壊しました。フランスでは社会党のオランド氏が次期大統領に選出されました。オランド氏は幾分主張を和らげたとはいえ、様々な財政支出増を公約しており、合意済みの財政協定について再交渉する意向を表明しています。ドイツはいかなる再交渉も可能とするオランド氏の考えに強硬に反発しており、ユーロ圏二大経済大国間の対立につながる可能性が高まっています。米国では、企業業績が全般的に良好であり、住宅市場も最低水準からの持ち直しが見られるなど、引き続き経済データが改善しています。世界的にインフレは緩和に向かっており、新興諸国の中央銀行による利下げの動きにつながっています。この世界経済に対する刺激を受け、IMF（国際通貨基金）は世界の経済成長予想を若干上方修正しました。しかしながら、成長はもっぱら新興国に偏り、先進国における成長は依然として弱いとみられています。従って、先進国の中央銀行は緊急避難的な緩和策を維持せざるを得ず、先進国と新興国との間で金利差の大きい状態が続くでしょう。当ファンドでは、ファンダメンタルズが極めて魅力的で、名目・実質の利回りが非常に高いブラジルに対して今後も最大のウェイトを維持することを検討します。欧州域内では、欧州と中東をつなぐ重要な位置にあり、双方の経済成長から恩恵を受けるトルコに対して、最大のウェイトを置いています。先進国市場の中では、力強い成長力があり、商品輸出も活発なオーストラリアとノルウェーに対して最大のウェイトを置いています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

LOプレミアファンドークリーンエネルギー

※ロンパー・オディエ・アセット・マネジメント（スイス）エス・エーより提供された情報です。



※上記データは、グリーンバランスファンドの基準価額算出に用いた、LOプレミアファンドークリーンエネルギーの基準価額です。  
 ※グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

＜国別構成比上位10カ国＞

国名	比率
アメリカ	44.9%
カナダ	6.9%
ブラジル	6.1%
中国	5.7%
イタリア	4.9%
ケイマン諸島	4.3%
英国	3.6%
オーストラリア	2.5%
フィンランド	2.5%
スペイン	2.5%

＜テーマ別構成比＞

テーマ	比率
水関連	31.5%
廃棄物リサイクル	26.3%
エネルギー効率化	16.8%
クリーンカー	8.9%
風力発電	5.3%
太陽光	1.3%
地熱	1.0%
燃料電池	0.9%

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

＜基準価額の騰落率＞

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
-4.54%	6.37%	6.63%	-21.09%	-

※基準価額の騰落率は、分配金を再投資し計算しています。

＜株式組入上位10銘柄＞（銘柄数：50銘柄）

順位	銘柄	国	テーマ	比率
1	CLEAN HARBORS INC	アメリカ	廃棄物リサイクル	4.9%
2	STERICYCLE INC	アメリカ	廃棄物リサイクル	3.8%
3	NEWALTA CORP	カナダ	廃棄物リサイクル	3.7%
4	WOODWARD INC	アメリカ	エネルギー効率化	3.6%
5	XYLEM WHEN ISSUED	アメリカ	水関連	3.1%
6	LKQ CORP	アメリカ	廃棄物リサイクル	2.9%
7	PALL CORP	アメリカ	水関連	2.9%
8	CLARCOR INC	アメリカ	水関連	2.6%
9	CHINA METAL RECYCLING HOLDINGS	ケイマン諸島	廃棄物リサイクル	2.6%
10	SIMS METAL MANAGEMENT LTD	オーストラリア	廃棄物リサイクル	2.5%

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

※個別銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組み入れを保証するものではありません。

運用コメント

◎運用概況

3月終盤からの世界株式市場の不調は4月に入っても続きました。欧州の債務問題が再燃したことが背景にあります。イタリアとスペインは特に影響が大きく、両国の国債利回りは大きく上昇（債券価格は下落）しました。株式市場でも、欧州株は他の主な地域に比べ見劣りする結果となりました。また、弱含みの気配を見せ始めた景気動向により商品市況も低調な推移となりました。

このような状況下、環境関連セクターやファンドのパフォーマンスも不冴えな結果となりました。通貨ユーロが低迷したほか、廃棄物処理関連や代替エネルギーセクターなどが低調であったことが主因です。このような状況下、当月は景気敏感銘柄の組み入れ比率の引き下げを行い、ややディフェンシブなポートフォリオとしました。

◎今後の見通しと運用方針

代替エネルギーセクターの企業では、太陽電池／タービンなどの足元での製造低迷を認識しつつも2013年へ向けての需給バランスの改善を想定していますが、ファンドでは不透明な状況が続くと考えています。一方、エネルギー効率関連についてはやや楽観的に見ています。生産量や設備稼働率が改善しているものの競争激化により企業収益は伸び悩んでいます。照明設備は全般的にLEDへの移行が進行中であることがその理由です。

総じて言えば、環境関連セクターは足元視界不良であるため、安全重視の投資方針とします。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## SAM ウォーター ファンド

※SAM サステイナブル・アセット・マネージメントより提供された情報です。

＜分配金込み基準価額の推移＞



※上記データは、グリーンバランスファンドの基準価額算出に用いた、SAM ウォーター ファンドの基準価額です。  
 ※グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

＜基準価額の騰落率＞

1か月	3か月	6か月	1年	3年
-1.36%	14.04%	13.78%	-9.38%	-

※基準価額の騰落率は、分配金を再投資し計算しています。

＜株式組入上位10銘柄＞（銘柄数：65銘柄）

	銘柄	通貨	業種	投資分野	比率
1	United Utilities Group PLC	ポンド	公益	水関連の公益事業	6.4%
2	Severn Trent PLC	ポンド	公益	水関連の公益事業	5.8%
3	Geberit AG	スイスフラン	資本財	水インフラの整備・資材	5.5%
4	Suez Environment Co	ユーロ	公益	水関連の公益事業	5.5%
5	Veolia Environnement SA	ユーロ	公益	水関連の公益事業	5.2%
6	Danaher Corp	アメリカドル	資本財	水質の管理・分析	5.0%
7	Xylem Inc/NY	アメリカドル	資本財	水処理機器・化学薬品	4.8%
8	American Water Works Co Inc	アメリカドル	公益	水関連の公益事業	4.6%
9	Pentair Inc	アメリカドル	資本財	水処理機器・化学薬品	3.5%
10	Guangdong Investment Ltd	香港ドル	公益	水関連の公益事業	3.3%

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

※個別銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組み入れを保証するものではありません。

＜株式組入上位5カ国＞

	国名	比率
1	アメリカ	37.5%
2	イギリス	15.2%
3	フランス	10.8%
4	スイス	7.7%
5	香港	5.6%

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

＜投資分野別構成比＞

投資分野	比率
水処理機器・化学薬品	21.0%
水インフラの整備・資材	16.9%
水質の管理・分析	14.1%
水関連の公益事業	47.9%

※比率は対組入株式時価総額です。

## 運用コメント

## ◎運用概況

3月終盤からの世界株式市場の不調は4月に入っても続きました。欧州の債務問題が再燃したことが背景にあります。イタリアとスペインは特に影響が大きく、両国の国債利回りは大きく上昇（債券価格は下落）しました。株式市場でも、欧州株は他の主な地域に比べ見劣りする結果となりました。

水関連セクターでは、当月、米国から興味深いニュースが飛び込んできました。Veolia Environnementがニューヨーク市の上下水道サービスのパフォーマンス最適化を支援する企業として選定される可能性があり、この場合、同サービスの生産性や効率性の向上に取り組むというニュースです。ニューヨーク市では、この改善を通じて大きな経費削減を計画しています。

4月のファンドの基準価額は、3月末の水準と比べてやや下落しました。今月はリターンリバーサル動きがそこそこに見られました。急上昇していたフランスの公益関連各社は、当月、利益確定の売りに押されて軟調な展開となりました。この株価の動きには、具体的な理由があったわけではないと当ファンドでは捉えており、各社の株価はまだ割安で魅力的な水準にあると思われまます。一方、保有銘柄の中でも英国の水道会社などは、今年の年初から3月末まで、世界の株式市場に後れを取っていましたが、当月は力強い値動きを見せました。

当ファンドは当月、いくつかの銘柄で決算や大株主の動向などを勘案し、利益確定の売却などを行いました。

## ◎今後の見通しと運用方針

市場は今後も、マクロ経済指標の動向や、金融市場の緊張緩和を目指した政治や財政の動きなどから強い影響を受けると考えます。当ファンドは株式市場の今後について、全体的に慎重な見方を維持しています。マクロ指標の勢いがいくぶん失われつつあるようにみえることがその理由です。特に気になるのは中国の製造業セクターや不動産セクターであり、今後の動きが注目されます。

一方で水関連セクターの長期的な成長の原動力は健在であり、バリュエーション（株価評価）も魅力的です。ただ、一部のマクロ経済指標でさらに注意が必要な状況が示されていることを受け、当ファンドは景気循環の影響を受けやすい銘柄への投資については消極姿勢としています。一方、ディフェンシブ性の高い公益関連株については、積極姿勢とする方針です。国別では、中国に対して引き続き積極姿勢で臨みます。ただ以前と比べるとややトーンダウンしました。中国の現在の5カ年計画は、この国の水関連セクターの成長を後押しする内容になっていますが、その一方でマクロ経済見通しはやや暗くなりつつあるためです。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。**

■当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## 生物多様性ファンド（適格機関投資家専用）

※三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社より提供された情報です。

＜分配金込み基準価額の推移＞



※上記データは、グリーンバランスファンドの基準価額算出に用いた、生物多様性ファンド（適格機関投資家専用）の基準価額です。  
 ※グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

＜基準価額の騰落率＞

1か月	3か月	6か月	1年	3年
-5.44%	7.07%	5.30%	-1.85%	-

※基準価額の騰落率は、分配金を再投資し計算しています。

## 【ご参考：組入候補銘柄抽出の際の着目点】

事業活動が生物多様性に及ぼす影響を緩和させることに積極的に取り組む企業

生物多様性を保全する技術・サービスを提供する企業

生物多様性を保全するためのアクションプラン等長期目標を設定している企業

＜国内株式組入上位5業種＞

	業種	比率
1	電気機器	11.2%
2	輸送用機器	9.5%
3	卸売業	8.5%
4	小売業	6.5%
5	情報・通信業	6.1%

※比率は当投資信託のマザーファンドの純資産総額比です。

＜株式組入上位10銘柄＞（銘柄数 140銘柄）

	銘柄	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.5%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.4%
3	本田技研工業	輸送用機器	2.6%
4	日本電信電話	情報・通信業	2.0%
5	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	1.9%
6	三菱商事	卸売業	1.6%
7	信越化学工業	化学	1.6%
8	三井物産	卸売業	1.4%
9	KDDI	情報・通信業	1.3%
10	セブン&アイ・ホールディングス	小売業	1.3%

※比率は当投資信託のマザーファンドの純資産総額比です。

※個別銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組み入れを保証するものではありません。

## 運用コメント

## ◎運用概況

生物多様性の保全と持続的な利用に積極的に取り組む企業を選定し、時価総額や流動性等を考慮した投資比率でポートフォリオを構築しています。

4月は、ユニバース（投資候補銘柄群）の入れ替えに伴ない、保有銘柄のリバランスを行なった結果、銘柄数は前月末の110銘柄から140銘柄に増加しました。

## ◎今後の見通しと運用方針

フランス大統領選挙結果も含めて欧州債務問題への懸念は拭いきれませんが、昨年来のECB（欧州中央銀行）による政策対応により、金融システム不安への拡大は回避されています。昨年末からの上昇が一服となっている株式相場ですが、当面は積極的な買い材料に乏しく、もみ合いの展開が想定されます。今後については、足もとの景気減速が懸念される一方でインフレ圧力が緩和しつつあり、景気刺激策の発動余地が生じている中国経済の動向に注目しています。

引き続き、生物多様性の保全と持続的な利用に積極的に取り組む企業を選定し、時価総額や流動性等を考慮した投資比率でポートフォリオを構築します。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## ■お申込みメモ

- 商品分類 : 追加型投信／内外／資産複合  
 お申込単位 : お申込単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。  
 お申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額  
 お申込不可日 : 取得申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日、チューリッヒの銀行休業日、ケイマンの銀行休業日、ルクセンブルクの銀行休業日のいずれかに当たる場合、ないし、取得申込日の翌営業日がルクセンブルクの銀行休業日に当たる場合は、取得のお申込みの受付は行ないません。  
 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。  
 信託期間 : 2020年6月17日まで（2010年7月30日設定）  
 決算日 : 毎月17日（休業日の場合は翌営業日）  
 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。  
 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。  
 ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額  
 ご換金不可日 : 換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日、チューリッヒの銀行休業日、ケイマンの銀行休業日、ルクセンブルクの銀行休業日のいずれかに当たる場合、ないし、換金請求日の翌営業日がルクセンブルクの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。  
 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。  
 ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して8営業日目からお支払いします。  
 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。  
 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## ■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- お申込手数料 : お申込手数料率は、3.15%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める率とします。  
 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。

換金手数料 : ありません。

信託財産留保額 : ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>

- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.539525%（税抜1.484375%）程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。  
 信託報酬の内訳は、当ファンドの信託報酬率（年率）1.12035%（税抜1.067%）、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率（年率）0.419175%（税抜0.417375%）程度\*となります。なお、投資対象とする投資信託証券の信託報酬率（年率）は、「エコロジー・ボンド・ファンドクラスA」を70%、「LOプレミアムファンドークリーンエネルギー」および「SAM ウォーター ファンド」をそれぞれ12.5%、「生物多様性ファンド（適格機関投資家専用）」を5%組み入れると想定した場合の概算値です。  
 \*その他に、投資対象とする「SAM ウォーター ファンド」においては、固定報酬がかかります。

その他費用 : 目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%以内を乗じて得た額が信託財産から支払われます。

組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入る有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## ■委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社  
 受託会社 : 三井住友信託銀行株式会社（再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）  
 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。  
 日興アセットマネジメント株式会社  
 [ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>  
 [コールセンター] 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

## ■お申込みに際しての留意事項

## ○リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは、預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式および債券を実質的な投資対象としますので、株式および債券の価格の下落や、株式および債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なりスクは以下の通りです。

## 【価格変動リスク】

- 株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- 公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。
- 新興国の株式および債券は、先進国の株式および債券に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

## 【流動性リスク】

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式および債券は、先進国の株式および債券に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

## 【信用リスク】

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。
- ・新興国の債券は、先進国の債券に比べて利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じるリスクが高まる場合があります。

## 【為替変動リスク】

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

## 【カントリー・リスク】

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## ○その他の留意事項

当資料は、投資家の皆様に「グリーンバランスファンド／愛称：グリーングリーン」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号  
 加入協会：社団法人投資信託協会  
 社団法人日本証券投資顧問業協会

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第649号	○	○	○	○